

平成28年度

事業報告

社会福祉  
法人 十和田市社会福祉協議会

# 目 次

## 本会の組織

1	会長・副会長・理事	1
2	監事	1
3	評議員	1
4	職員名簿	2

## 会務の運営

1	理事会	3
2	評議員会	3
3	監査会	4
4	法人会員募集実行委員会	4
5	社会福祉大会表彰選考委員会	4
6	地域福祉活動計画策定委員会	4

## 第1 地域福祉の推進

1	地域福祉ネットワークづくりへの支援	5
2	ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の充実	6
3	民生委員・児童委員活動との連携・協働	11
4	福祉安心電話サービス事業の推進	12
5	フードバンクシステム構築事業の推進	13
6	地域福祉活動計画書の策定	13
7	広報、啓発活動の充実	13
8	第12回十和田市社会福祉大会の開催	16

## 第2 福祉施策の総合的推進

1	低所得者福祉対策の推進	17
2	母子・父子・児童福祉対策の推進	18
3	障がい者福祉対策の推進	19
4	高齢者福祉対策の推進	21

第3	利用者の利益を守る事業の推進	
1	日常生活自立支援事業並びに成年後見事業の推進	2 2
2	苦情解決事業の推進	2 3
3	福祉サービス利用者等の個人情報の保護	2 3
第4	組織基盤の強化	
1	事務執行における内部けん制体制	2 4
2	多様な参画による会員組織	2 4
3	役員体制の強化	2 4
4	機能的・効果的な事務局組織	2 4
5	安定的・持続的な財源確保	2 4
6	経費の縮減と事務処理の効率化	2 5
7	事業評価の実施	2 5

# 本 会 の 組 織

平成29年3月31日現在

## 1 会長・副会長・理事（13名）

会 長	江 渡 恵 美				
副 会 長	小 川 洋 平				
”	洞 内 末 吉				
常務理事	佐々木 令 子				
理 事	野 月 一 博	中野渡 勇 治	古 館 實		
”	古 川 あ き	国 分 隆 子	竹 達 幸 雄		
”	立 崎 享 一	吉 田 壮 一	日野口 敏 章		

## 2 監 事（3名）

高 野 洋 三      櫻 田 努      江 渡 義 夫

## 3 評 議 員（40名）

大 竹 正 美	立 崎 弘	織 川 貴 司	岩 城 和 子
角 田 ヨシ子	木 津 寛	赤 石 政 義	石 田 美津子
張 摩 博 子	佐々木 一 吉	荒 井 容 子	角 濱 京 子
岩 田 秀 子	山 本 孝 司	宮 本 範 道	中野渡 福 美
野 月 誠	櫻 田 一 雅	佐 賀 康 夫	山 田 誠 一
小笠原 豊 重	坂 本 秀 美	漆 畑 貴美男	小 林 千 恵
杉 本 喜和子	太 田 代志郎	白 山 廣 美	下川原 和 男
金 村 金 作	鈴 木 鉄 男	後 藤 智 保 子	和 田 原
外 山 忠 男	目 時 孝 子	橋 場 妙 子	森 平 直 樹
漆 館 仁	中河原 めぐみ	小 関 幸 一	織 川 徳 子

#### 4 職員名簿 (17名)

##### 【事務局】

事務局長 佐々木 令 子 (契約担当者 兼 会計責任者)  
事務局次長 福 田 延 幸 (出納責任者)

##### 【総務管理係】

係 長 田 中 伸 子 (会計職員)  
主任主査 上川原 王 子  
パートタイマー 川 岸 恵 菜

##### 【地域福祉係】

係 長 福 田 延 幸  
主任主査 田 中 宏 幸  
主任主査 中野渡 信 哉  
主任主査 藤 田 智 哉  
主 査 浦 田 諭  
主 事 原 田 章 弘  
臨時職員 小 山 里香子  
パートタイマー 下川原 貴 子

日常生活自立支援事業生活支援員

小 松 眞知子 甲 地 久美子 佐々木 早 苗  
外 山 久美子 太 田 千鶴子

##### 【成年後見センター】

所 長 佐々木 令 子  
主 幹 田 中 宏 幸  
専 門 員 福 田 延 幸 中野渡 信 哉 藤 田 智 哉  
浦 田 諭

##### 【災害ボランティアセンター】

所 長 佐々木 令 子  
主 幹 中野渡 信 哉  
コーディネーター 福 田 延 幸 藤 田 智 哉 原 田 章 弘

##### 【苦情解決窓口】

責 任 者 佐々木 令 子  
担 当 者 中野渡 信 哉

## 会 務 の 運 営

### 1 理 事 会

開催日	会 場	出席者	議 案
第1回 4月28日(木)	市民交流プラザ 多目的研修室2	理事15名	<決議事項> 1 正副会長の選任 2 会長職務代理者の指名・選任及び常務理事の指名
第2回 5月19日(木)	市民交流プラザ 多目的研修室2	理事15名 監事1名	<決議事項> 1 平成27年度事業報告並びに収支決算 2 平成28年度予算の補正 3 たすけあい資金貸付金の一部欠損処分 4 評議員の選任
第3回 12月21日(水)	サン・ロイヤルとわだ 2階 会議室	理事13名 監事3名	<決議事項> 1 平成28年度予算の補正 2 定款の改正 3 定款細則の制定 4 評議員選任・解任委員会運営細則の制定 5 評議員選任・解任委員会委員の選任 6 評議員候補者の選任
第4回 3月27日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室2	理事11名 監事2名	<決議事項> 1 平成29年度事業計画並びに収支予算 2 平成28年度予算の補正 3 地域福祉活動計画の承認 4 給与規程の一部改正 5 就業規程の一部改正

### 2 評 議 員 会

開催日	会 場	出席者	議 案
第1回 5月19日(木)	市民交流プラザ 多目的研修室2	評議員28名 監事1名	<決議事項> 1 平成27年度事業報告並びに収支決算 2 平成28年度予算の補正 3 たすけあい資金貸付金の一部欠損処分
第2回 12月21日(木)	サン・ロイヤルとわだ 2階 会議室	評議員33名	<決議事項> 1 平成28年度予算の補正 2 定款の改正
第3回 3月27日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室2	評議員33名	<決議事項> 1 平成29年度事業計画並びに収支予算 2 平成28年度予算の補正 3 地域福祉活動計画の承認 4 給与規程の一部改正 5 就業規程の一部改正

### 3 監査会

開催日	会場	監査員	監査内容
5月10日(火)	市民交流プラザ 多目的研修室3	監事3名	平成27年度決算に伴う各会計の経理状況並びに業務の執行状況
10月31日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室3	監事3名	平成28年度上半期の各会計の経理状況
2月21日(火)	市民交流プラザ 多目的研修室1	監事3名	平成28年度下半期の各会計の経理状況

### 4 法人会員募集実行委員会

開催日	会場	出席者	協議事項
6月27日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室2	16名	平成28年度法人会員の募集

### 5 社会福祉大会表彰選考委員会

開催日	会場	出席者	協議事項
8月26日(金)	市民交流プラザ 多目的研修室3	7名	第12回十和田市社会福祉大会被表彰者の選考・審査

### 6 地域福祉活動計画策定委員会

開催日	会場	出席者	協議事項
第1回 7月20日(水)	市民交流プラザ 多目的研修室2	18名	委員会設置 策定趣旨 市民アンケート分析
第2回 9月28日(水)	市民交流プラザ 多目的研修室2	12名	計画書検討
第3回 11月29日(火)	市民交流プラザ 多目的研修室2	16名	計画書検討 部門別ワークショップ
第4回 2月27日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室2	17名	計画書検討 委員会承認

# 第1 地域福祉活動の推進

## 1 地域福祉ネットワークづくりへの支援

少子高齢化、核家族化等が進む中、福祉コミュニティの実現に向けて、地域住民相互のつながり " ネットワーク " を重視し、ボランティア活動や住民参加のサービス事業を促進した。

### (1) 地域福祉ほのぼの交流事業の実施

高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会構築のため、地域生活における見守り機能の充実を図った。事業の実施にあたり、地域福祉活動の主体である住民をほのぼの交流協力員と位置づけ、訪問等による見守り活動を促進した。

#### ①ほのぼの交流協力員事業

訪問活動のできる住民ボランティア3名程度で1グループを編成し、ほのぼの交流協力員とした。協力員は、本年度末で31名、対象者21世帯。地域住民が主体となり互いに見守り支え合う活動をとおして、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域福祉社会の基盤形成を促進した。



#### ②ほのぼの交流協力員研修会

研修会により、地域における見守り活動の重要性と活動における大切な視点のグループワークを実施した。また、講話による福祉情報の共有を図った。

期 日 平成29年3月15日(水)

会 場 市民交流プラザ

参加者 9名

講 話 悪質商法の手口と対処法

#### ③ボランティア活動促進事業

ほのぼの交流協力員へボランティア保険加入料を助成することにより、住民レベルのボランティア活動の一層の促進を図った。

### (2) ふれあい・いきいきサロン事業の実施

一人暮らし高齢者等で家に閉じこもりがち、話し相手がない、寂しいという不安や悩みのある方々に、集会場等の身近な場所で、仲間づくり、出会いづくりの場を提供するサロン事業を実施し、地域住民相互の健康増進、交流を促進した。

〔開催の状況〕

全23地区 / 延べ401回 / 延べ6,364名
---------------------------



[3年指定地区・団体]

- ①ローズマリークラブ（12回/138名）②咲楽会（12回/138名）③西十四番町集いの会（23回/256名）④楽笑会（12回/245名）

[単年度指定地区・団体]

- ①リフレッシュクラブ（32回/449名）②しらかばいきいき教室（12回/153名）③太田川原ふれあい・いきいきサロン（15回/261名）④みんなで集まる楽しいふれあいデー（11回/188名）⑤小沢口ふれあい・いきいきサロン（11回/113名）⑥滝沢長寿クラブ（14回/176名）⑦東小稲町内会さわやか教室（12回/330名）⑧相坂上えがおサロン会（12回/363名）⑨下切田いきいきサロン（15回/277名）⑩ひまわりふれあいサロン（25回/492名）⑪カトレアサロン（30回/237名）⑫初田ふれあい・いきいきサロン（12回/238名）⑬いきいきサロンオアシス（11回/99名）⑭なごみ会（50回/807名）⑮このゆびと〜まれ（13回/412名）⑯吾郷ふれあい・いきいきサロン（22回/312名）⑰日ノ出町熟年会（19回/215名）⑱楽らく会（14回/148名）⑲ふれあい教室（12回/317名）



## 2 ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の充実

地域の様々なボランティア団体やNPO等の市民活動や企業の社会貢献活動等が展開される中、ボランティア団体・市民活動の支援や福祉教育を推進するとともに、地震等の災害に備え、関係機関・団体とのネットワーク化や災害ボランティア活動の普及に努めた。

### (1) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動の振興を図るため、記載の事業内容で効果的な推進を図った。

#### ①器具・機材の貸し出し

ボランティア活動等の便宜を図るため、器具・機材の貸し出しを行った。

[器具・機材の貸し出し状況]

機材名	数量	機材名	数量
点字器	90器	アイマスク	51個
擬似体験セット	16セット	テント	4張
白杖	12本	児童遊具セット	2セット

#### ②ボランティア保険の加入促進

ボランティアが安心して活動できるように、全国社会福祉協議会が行っている保険の加入促進に努めた。

ボランティア活動保険	62件 (1,004名)
Aプラン	46件 (921名)
Bプラン	11件 (68名)
天災Aプラン	3件 (13名)
天災Bプラン	2件 (2名)
ボランティア行事用保険	51件 (4,057名)
A1プラン	45件 (3,881名)
A2プラン	3件 (106名)
B1プラン	2件 (40名)
B2プラン	1件 (30名)
福祉サービス総合補償	Aプラン 1件 Cプラン 1件
ふれあいサロン傷害補償	7件 (1,348名)
Aプラン	6件 (1,216名)
Bプラン	1件 (132名)

〔ボランティア保険給付状況〕

傷害保険 0

③ボランティア保険加入者助成事業

ボランティア活動者、受け入れ者の安心確保につながる保険加入を促進するため、加入者の保険料の一部助成を行った。

〔助成の状況〕

全706名 (・37団体696名 ・個人10名)

④ボランティア活動に関する登録斡旋と連絡調整

ボランティア活動の推進を図るため、登録斡旋を促進するとともに、ボランティアを「お願いしたいという依頼」、「活動をしたいという希望」、それぞれの連絡調整を行った。

〔ボランティアの登録状況〕

・団体 49団体 (登録者数 3,491名) ・個人 76名

〔ボランティアの斡旋状況〕

・依頼件数 95件 (施設等) ・依頼人数 375名  
・斡旋件数 75件 ・斡旋人数 235名

〔ボランティアの斡旋事例〕

- ・「誠幸園障害者自立支援センター」より、車イス利用者の買物介助の依頼が延べ28件あり、ボランティア登録者と調整し延べ33名を斡旋した。

- ・白菊保育園、白菊かねざき保育園、第三白菊保育園、第五白菊保育園、みきの保育園、めぐみ保育園、とわだ湖中央保育園、湖樂園、八郷保育園より、運動会・夏祭りの運営補助の依頼が延べ14件あり、ボランティア登録団体の十和田西高校、十和田工業高校等を調整し斡旋した。
- ・「東北電力十和田営業所」より、ボランティア活動として電気設備点検をしたいので、活動対象者を紹介して欲しいという依頼があり、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯の計15世帯を紹介した。
- ・「管工事協会」より、水道点検のボランティア活動対象者を紹介して欲しい旨の依頼があり、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯の16世帯を紹介した。

#### ⑤ボランティア活動に関する調査研究

ボランティア活動の実態把握のため、市内の関係団体、個人に対して活動状況調査を実施した。また、施設に対しては、訪問しているボランティアの状況調査を行うとともに、施設におけるボランティアの受入体制調査を実施した。なお、この結果を「市内ボランティア団体・個人活動調査表」とし、問い合わせ等に対して最新の情報提供を行った。

#### ⑥収集ボランティアの啓発

古切手、書き損じハガキ、プリペイドカード、ベルマーク、アルミ缶（プルタブ）等の収集を呼びかけ、プルタブについては換金し、ゆめ色フェスティバル事業に活用した。他の収集物品については、「誕生日ありがとう運動本部」へ送付した。

#### ⑦災害救援ボランティアネットワークの構築

災害時におけるボランティア活動への対応を図るため、平成28年5月31日（火）市総合防災訓練で災害ボランティア受付・派遣活動訓練を実施した。

#### ⑧福祉教育インストラクター養成研修の開催

福祉教育やボランティアに関心・熱意のある市民を対象に、地域や学校に出向き福祉体験学習をサポートする人材育成を目的として、平成19年度から引き続き、福祉教育インストラクター養成研修を開催した。研修を修了したインストラクターは、学校等の福祉体験学習の依頼、延べ30件に対し、延べ178名が活動をした。なお、これまでに養成されたインストラクターは、全145名となった。

期 日 平成28年6月9日（木）  
平成29年2月22日（水）  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 延べ12名



#### ⑨ボランティア団体助成事業の実施

ボランティア活動の活性化を図るため、本会へボランティア登録する団体・グループへ活動経費の助成を行った。

〔助成状況〕

全11団体・グループ

〔高齢者や児童、障がい者に関する活動団体・グループ〕

- ①市連合婦人会法奥婦人会②精神保健福祉ボランティア駒の会③点訳・朗読奉仕会④傾聴サロンとわだ⑤スマイルラボ⑥手話サークルおいらせ⑦県手話通訳問題研究会

〔子育て支援に関する活動団体・グループ〕

- ①市更生保護女性会

〔健康づくりに関する活動団体・グループ〕

- ①フレンド五月会②街なか歌声いきいきサークル③みどり会

⑩介護支援ボランティア事業

市からの委託により、高齢者がボランティア活動による社会参加を通じて、介護予防・健康維持を増進するよう活動者登録のための研修会を開催した。また、活動した際に付与されるボランティアポイントを地場産商品と交換し、ボランティア活動の促進を図った。

〔研修会受講者（活動登録者）状況〕

期 日 平成29年1月30日（月）

会 場 市民交流プラザ

参加者 37名

〔ボランティアポイント交換状況〕

・20ポイント 1名



(2) 中学生福祉サミットの開催

中学生が社会福祉やボランティア活動の大切さについて、自由な意見交換や共同の作業により、意識の高揚と「思いやりの気持ち、助け合いの気持ち」を育む機会となるよう福祉サミットを開催した。

期 日 平成29年1月12日（木）

会 場 市民交流プラザ

参加者 10名（5中学校）



(3) 中学生ボランティアスクールの開催

中学生がボランティア活動等の体験学習をとおり、人の役に立つ喜び、支え合い助け合いともに生きることの大切さを学び、健全な成長の機会となるようボランティアスクールを開催した。

期 日 平成28年8月2日（火）・3日（水）・4日（木）

会 場 市総合体育センター

参加者 34名



【第1日目】

開校式

ガイダンス（スタッフ・参加者紹介・厳守事項等説明）

とにかく動いてみよう！（簡単なレクリエーションを通じて障がいの擬似体験）

みんなで街へ出てみよう！（擬似体験セットや車イスを使用し商店街で買物を実体験）

【第2日目】

施設でボランティア活動をしてみよう！（施設・保育園等で活動）

【第3日目】

世代間交流（ふれあい・いきいきサロンに参加して高齢者と交流）

3日間の活動の振り返り・まとめ（参加生による共同作業）

閉校式（修了証書授与）



（4）福祉に関する作品コンクールの実施

小・中・高校生を対象に、社会福祉についての理解と関心を高めることを目的に、『ほんわかハート展』の名称により、作文、絵画、ポエム、写真、書道を募集し、全26校より638点の作品が寄せられた。各部門の最優秀賞受賞者は、第12回十和田市社会福祉大会で表彰を行った。また、「作文」については、同大会席上で発表し、「絵画」「ポエム」「写真」「書道」については、イオンスーパーセンター十和田店及び市民交流プラザに展示公開した。

募集期間 平成28年6月～8月下旬

応募総数 638点

入選者 155名



中  
三  
向  
江  
市  
福祉  
展  
福社  
社会



〔作文部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	2作品	1名	1名	0名	0名
小学校高学年の部	4作品	1名	3名	0名	0名
中 学 校 の 部	47作品	1名	4名	4名	5名
高 等 学 校 の 部	0作品	0名	0名	0名	0名

## 〔絵画部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	25作品	1名	3名	5名	5名
小学校高学年の部	16作品	1名	2名	3名	3名
中学校の部	13作品	1名	1名	3名	3名
高等学校の部	1作品	1名	0名	0名	0名

## 〔ポエム部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	20作品	1名	3名	5名	5名
小学校高学年の部	22作品	1名	3名	5名	5名
中学校の部	1作品	0名	0名	1名	0名
高等学校の部	1作品	0名	0名	1名	0名

## 〔写真部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	13作品	1名	1名	1名	3名
小学校高学年の部	11作品	1名	1名	2名	3名
中学校の部	1作品	0名	0名	1名	0名
高等学校の部	8作品	0名	1名	2名	2名

## 〔書道部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	143作品	1名	3名	5名	5名
小学校高学年の部	274作品	1名	3名	5名	5名
中学校の部	21作品	1名	3名	5名	5名
高等学校の部	15作品	1名	3名	5名	3名

### 3 民生委員・児童委員活動との連携・協働

住民が住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会づくりの実現を目指し、住民の最も身近な相談者・支援者、地域福祉の推進者である市民生委員児童委員協議会との連携を図り、相互の活動のさらなる充実・強化に努めた。

#### (1) ふれあい相談所の充実強化

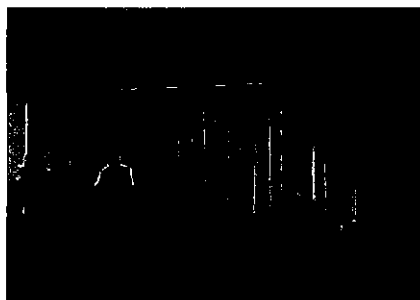
ふれあい相談所を開設し、地域住民の日常生活上のあらゆる相談に助言を行い、心配ごとの改善・解決により福祉の増進を図った。また、相談員の技法向上と情報共有を目的に、県社協主催の相談技法研修会へ相談員3名を派遣した。

※相談所の運営状況は、各種統計資料「ふれあい相談所事業実施状況」のとおり。

## (2) 一人暮らし高齢者ふれあい事業の推進

民生委員児童委員協議会との連携により、地域で生活する一人暮らし高齢者（70歳以上）を対象に、会食・レクリエーション等を提供し、相互の交流と孤独感の解消を図った。

期 日 平成28年10月19日（水）  
会 場 サン・ロイヤルとわだ  
参加者 463名



## 4 福祉安心電話サービス事業の推進

住民参加による見守りネットワークと緊急対応を兼ね備えた福祉安心電話サービス事業は、本年度末で加入設置台数は43台、協力員数は132名となった。

事業の円滑な運営のため、『あんしんネットワーク構成員の集い』（平成元年度から継続実施）を開催し、制度の周知、関係者間の連携強化に努めるとともに、定期的に安否・健康状態等、状況把握のため、ふれあい相談員によるふれあい電話サービスを実施した。

### (1) あんしんネットワーク構成員の集いの開催

期 日 平成29年2月17日（金）  
会 場 サン・ロイヤルとわだ  
参加者 73名  
法 話 生と死  
講 師 観音寺 住職 前田 憲 良  
事業説明 「在宅福祉サービスの紹介」  
十和田市社会福祉協議会 事務局  
アトラクション



### (2) ふれあい電話サービスの実施

ふれあい相談員から設置者へ安否・健康状態等の確認電話、回数全710回。

#### 〔ふれあい電話の事例〕

・平成28年8月22日 ふれあい相談員から電話  
お元気ですか。

— 体調が悪く、病院に行って注射をしてきたので、今は落ち着いています。

心配ですね。何かあったらいつでもボタンを押してくださいね。また電話させていただきます。

— いつもありがとうございます。

### (3) 福祉安心電話の緊急通報等着信状況

着信状況は、緊急通報5件、火災通報0件、停電通報8件、相談2件、電池切れ1件、バッテリー切れ0件の計16件。このうち協力員等の要請7件、救急車の要請1件、消防車の要請0件という状況である。

#### [緊急通報の事例]

- 平成28年9月26日 8:04 緊急通報 受信センターへ着信。

受信センターより本人へ連絡すると応答あり。

本人は2、3日前から腰痛がひどく、我慢していたが失禁して立てなくなったとのこと。

受信センターが救急車を要請し、病院に搬送され、入院することとなった。

受信センターから、協力員へ連絡し状況を説明。協力員が駆けつけ、救急車に同乗した。

## 5 フードバンクシステム構築事業の推進

県社協の支援により、県内食品企業と連携し、食品ロス（包装破損・期限切れ間近等）の有効活用として、福祉施設や団体を通じて必要な方々に対する食糧支援となるようシステムを構築に努めた。

#### [システム活用状況]

時	企業（食品業者）	提供食品	支援先
8月8日	フードバンクだいち	米・野菜類	寺子屋事業に活用
10月1日	コープフードバンク	レトルト食品・缶詰類	要援護者5名へ給付
1月19日	コープフードバンク	レトルト食品類	要援護者3名へ給付
3月9日	コープフードバンク	米・レトルト食品・缶詰類	要援護者2名へ給付

## 6 地域福祉活動計画書の策定

平成29年度以降、平成33年度までの5か年間に渡り本会が取り組む具体的地域福祉活動（全27事業）の方向性及び評価指標を地域福祉活動計画書として示した。なお、計画書策定にあたり、法人運営・地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉・施設福祉・ボランティア・関係行政の各分野に精通する全22名の委員による延べ4回の委員会を開催した。

## 7 広報、啓発活動の充実

市民に対し、地域福祉推進の意識を啓発するとともに、本会が取り組んでいる活動や実施事業について周知を図ること、さらには、社会福祉に関する情報を提供することを目的に広報紙を発行した。



(1) 広報紙「社協だより」の発行

1	号及び発行日	第106号 平成28年 5月発行
	規 格	A4版カラー刷 6頁
	発行部数	26,700部

〔掲載内容〕

- ◆ “福祉教育インストラクター養成研修” “中学生福祉サミット” “あんしんネットワーク構成員の集い”
- ◆ 平成28年度社協事業計画・資金収支予算 ・地域福祉ネットワークづくりの支援と協働
- ・ 第12回十和田市社会福祉大会 ～法人化50周年記念大会の開催～
- ・ 低所得者福祉対策の推進 ・母子、父子、児童福祉対策の推進
- ・ 民生委員児童委員活動との連携・協働 ・高齢者福祉対策の推進 ・障がい者福祉対策の推進
- ・ ボランティア活動の振興、福祉教育の充実 ・組織基盤の強化
- ・ 利用者の利益を守る事業の推進 ・広報、啓発活動
- ◆ 私たちのまちの地域づくり活動やボランティア活動を応援します
- ◆ 中学生福祉サミット、あんしんネットワーク構成員の集い、福祉教育インストラクター養成研修、ほのぼの交流事業研修会
- ◆ 平成28年度法人会員のご紹介
- ◆ 《善意の窓》 平成27年11月21日から平成28年3月31日までの金品寄附者
- ◆ ～安心のなかでボランティアを～ " ボランティア活動保険 "
- ◆ まちかど情報局 健康な生活習慣を育むために「早寝、早起き、朝ごはん」

2	号及び発行日	第107号 平成28年 8月発行
	規 格	A4版カラー刷 6頁
	発行部数	26,700部

〔掲載内容〕

- ◆ 災害ボランティアセンター訓練 万が一の災害に備えて！
- ◆ 平成27年度 事業報告 ◆ 平成27年度 決算報告 ◆ 会長あいさつ ◆ 役員紹介
- ◆ ボランティア活動をしてみませんか？ ボランティアセンターのしくみ  
ボランティア活動の様子紹介
- ◆ ～福祉の作品コンクール～ " ほんわかハート展 "
- ◆ 《善意の窓》 平成28年4月1日から平成28年6月30日までの金品寄附者
- ◆ まちかど情報局 ～糖尿病を予防しよう～

3	号及び発行日	第108号(合同特集号) 平成28年10月発行
	規 格	A4版カラー刷 12頁
	発行部数	27,400部

〔掲載内容〕

- ◆ "中学生ボランティアスクール開催！"
- ◆ 第12回十和田市社会福祉大会 記念講演 天使の正体 ～ダウン症書家翔子との軌跡～
- ◆ 高齢の方、障がいのある方のための事業 ～誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせる福祉社会～
  - ・ほのぼのの交流事業 ・お話しボランティア事業 ・給食サービス事業
  - ・日常生活自立支援事業 ・成年後見事業 ・日常生活用具貸出・手話講習会、奉仕員養成講座事業 ・高齢者健康体力維持支援事業 ・ふれあい・いきいきサロン事業
  - ・福祉安心電話サービス事業 ・一人暮らし高齢者ふれあい交流事業
  - ・ゆめ色フェスティバル事業 ・苦情解決第三者委員会設置事業
- ◆ 次世代を担う子どもたちのための事業
  - ・ほんわかハート展事業 ・中学校ボランティアスクール事業 ・福祉教育、ボランティア学習事業 ・夏休み寺子屋事業 ・中学生福祉サミット事業
- ◆ 各種資金の貸付事業
  - ・たすけあい資金貸付事業 ・生活福祉資金貸付事業
- ◆ 社会を背負う成人のための事業
  - ・十和田市社会福祉大会事業 ・住民説明会の開催 ・福祉教育インストラクター養成研修事業 ・収集ボランティア推進活動事業 ・ボランティア登録、斡旋事業
  - ・ボランティア団体助成事業 ・ボランティア活動保険加入者助成事業
  - ・ふれあい相談所事業
- ◆ フォトアルバム 「中学生ボランティアスクール開催」「夏休み寺子屋開催」
- ◆ ～私達のまちの幸せのために～ "赤い羽根共同募金"
- ◆ ありがとうございました 平成27年度赤い羽根共同募金の状況

4	号及び発行日	第109号 平成29年 1月発行
	規 格	A4版カラー刷 8頁
	発行部数	26,700部

〔掲載内容〕

- ◆ 金澤翔子 書 "第12回十和田市社会福祉大会にて席上揮毫"
- ◆ 十和田市社会福祉協議会法人化50周年 赤い羽根共同募金運動70周年 記念 "第12回十和田市社会福祉大会" 開催 ・各受賞者表彰式
- ◆ ～30周年記念 ゆめ色フェスティバル開催～
- ◆ ～平成28年度福祉の作品コンクール～ "ほんわかハート展" 入賞者紹介
- ◆ 《善意の窓》 平成28年7月1日から平成28年11月30日までの金品寄附者
- ◆ まちかど情報局 ～今日からやってみよう！ロコモ対策！～

## (2) ホームページによる情報提供

事業の紹介や社協だより、行事案内やボランティア募集などを、十和田市社会福祉協議会のホームページに掲載し情報提供を行った。

ホームページ： <http://towada-shakyo.or.jp> E-mail： [welfare@towada-shakyo.or.jp](mailto:welfare@towada-shakyo.or.jp)

## 8 第12回十和田市社会福祉大会の開催

社会福祉関係者及び一般市民の参加を得て、社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰・感謝する式典を行うとともに、社会福祉への理解と関心を高めるため、十和田市社会福祉大会を開催した。

### (1) 十和田市社会福祉大会打合せ会

期 日 平成28年6月16日(木)  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室3  
内 容 開催内容について  
出席者 5名



### (2) 十和田市社会福祉大会表彰選考委員会

期 日 平成28年8月20日(木)  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室3  
内 容 表彰・感謝等の審査  
出席者 12名



### (3) 十和田市社会福祉大会

期 日 平成28年10月26日(水)  
会 場 十和田市民文化センター  
参加者 約1,000名



記念講演 天使の正体～ダウン症書家翔子との軌跡～

講 師 書家 金 澤 泰 子 氏

席上揮毫 書家 金 澤 翔 子 氏

福祉の作品コンクール最優秀作品の発表及び表彰

最優秀賞作文発表者 小学校高学年の部 大久保 拓 海 さん



表彰式 最優秀賞表彰 作文の部2名・ポエムの部2名・書道の部3名  
絵画の部4名・写真の部2名

大会式典

表彰式 社会福祉協議会関係表彰 表彰の部53名・10団体・69社  
感謝の部4社・2名

共同募金委員会関係表彰 個人の部11名 団体の部8団体  
町内会の部35町内会

## 第2 福祉施策の総合的推進

### 1 低所得者福祉対策の推進

低所得者、障がい者、高齢者及び失業者世帯を対象に、資金の貸付と必要な援助指導により、世帯の経済的自立と生活意欲の助長を促し、生活の安定と向上を図ることを目的に民生委員・児童委員及び関係行政機関等の協力を得ながら援護対策に取り組んだ。

#### (1) 生活福祉資金貸付事業の推進

民生委員の世帯更生運動として制度化された本事業の資金運用に努めた。

※貸付状況は、各種統計資料「生活福祉資金貸付事業実施状況」のとおり。

##### ①償還促進への取り組みと不良債権の調査及び整理

生活福祉資金の貸付原資となるべき償還金の未償還金は、大きな課題であるとの認識のもと、県社協と共同で償還促進運動を年1回継続実施するとともに、不良債権の整理を行った。

- ・実施日 平成28年8月18日(木)
- ・対象 71件(面接12件)
- ・債務承認書提出 8件
- ・支払猶予申請 0件

##### ②民生委員児童委員協議会との協力体制の強化及び事務指導

償還促進を図るため、民生委員個人毎へ償還状況を毎月送付するとともに、協力体制の強化を図るため、情報共有や事業説明を行った。

##### ③要保護世帯の長期生活支援資金への対応

市福祉事務所からの通知を受け、申請者の不動産鑑定等を1件行い、貸付が決定した。

##### ④生活福祉資金貸付調査委員会の開催

〔第1回〕

期 日	平成29年3月16日(木)
会 場	市民交流プラザ
出席者	8名
協議事項	正副委員長選任並びに事業実施状況報告

## (2) たすけあい資金の充実強化

不時の出費等により最低生活を脅かされる恐れのある低所得世帯に対し、必要に応じた応急援護資金の貸付を行った。また、長期間滞納が続く借受人及び連帯保証人宅の夜間督促訪問を行った。

※貸付及び償還状況は、各種統計資料「たすけあい資金貸付事業実施状況」のとおり。

### ①たすけあい資金貸付事業運営委員会の開催

〔第1回〕

期 日	平成29年3月16日(木)
会 場	市民交流プラザ
出席者	8名
協議事項	正副委員長選任並びに支払免除者の協議検討

### ②夜間督促訪問

〔第1回〕 長期滞納者宅訪問

期 日	平成28年6月29日(水)
訪問実施数	借受人12名 連帯保証人8名

〔第2回〕 長期滞納者宅訪問

期 日	平成29年3月29日(水)
訪問実施数	借受人13名 連帯保証人6名

## (3) 歳末たすけあい運動の推進

歳末たすけあい募金により受けた配分金を、本年度は低所得世帯の修学支援となるよう活用した。

※募金及び配分状況は、各種統計資料「共同募金事業実施状況」のとおり。

## 2 母子・父子・児童福祉対策の推進

児童虐待や青少年犯罪など、児童を取り巻く環境は厳しく、児童や家庭を対象とした環境づくり対策、子育て支援対策など地域社会を含めた支援システムの構築のため、関係機関・団体等との連携により母子・父子及び児童福祉の推進に努めた。

### (1) 児童の見守りある居場所づくり "夏休み寺子屋" の開催

地域のあたたかな見守りの目のある居場所において、児童の健全育成を支援する目的で、地域の集会場を活用し夏休み期間、遊び・学び・伝えの場づくりを行った。

#### ①児童の見守りある居場所づくり夏休み寺子屋（東小学校区）

- ・第1回打合せ会 平成28年4月21日（木） 会場 東ふれあい会館
- ・第2回打合せ会 平成28年5月19日（木） 会場 東ふれあい会館
- ・第3回打合せ会 平成28年7月15日（金） 会場 東ふれあい会館
- ・夏休み寺子屋 平成28年7月25日（月）～27日（水）  
8月1日（月）～3日（水） 8月8日（月）～10日（水）  
全9日間  
会場 東ふれあい会館  
参加者 延べ289名（児童215名 ボランティア74名）



#### ②児童の見守りある居場所づくり夏休み寺子屋（南小学校区）

- ・第1回打合せ会 平成28年6月7日（月） 会場 市民交流プラザ
- ・第2回打合せ会 平成28年6月20日（月） 会場 市民文化センター
- ・第3回打合せ会 平成28年7月19日（火） 会場 市民交流プラザ
- ・夏休み寺子屋 平成28年7月25日（月）～27日（水）  
8月1日（月）～3日（水） 8月8日（月）～10日（水）  
全9日間  
会場 東小稲会館  
参加者 延べ264名（児童194名 ボランティア70名）



### 3 障がい者福祉対策の推進

障がい者福祉の更なる向上を図るため、障がい者団体の自主的活動や社会参加を支援するとともに、関係機関・団体等との連携により障がい者福祉の増進に努めた。

## (1) ゆめ色フェスティバルの開催（愛の輪レクリエーション事業助成金活用）

障がいの有無・年齢・性別を問わず市民が一堂に会し、芸能発表やレクリエーション等のふれあいをとおして、障がい者の社会参加の促進と福祉の向上を図ることを目的に、事業を継続実施した。なお、青森県社会福祉協議会の事業助成金を一部活用した。

### ①第1回ゆめ色フェスティバル打合せ会

期 日 平成28年6月22日（水）  
会 場 市民交流プラザ  
出席者 15名（15団体）



### ②第2回ゆめ色フェスティバル打合せ会

期 日 平成28年10月21日（金）  
会 場 市民交流プラザ  
出席者 16名（16団体）



### ③ゆめ色フェスティバル2016

期 日 平成28年11月12日（土）  
会 場 サン・ロイヤルとわだ  
参加者 約460名



### ④第3回ゆめ色フェスティバル打合せ会

期 日 平成28年12月8日（木）  
会 場 市民交流プラザ  
出席者 15名（15団体）



## (2) 手話講習会の開催

手話の普及と聴覚障がいへの理解を深めるため、講習会〔昼の部〕並びに、市の委託による奉仕員養成講座〔夜の部〕を、市ろうあ協会との連携により実施した。

### ①手話講習会〔昼の部〕

期 日 平成28年5月18日（水）～7月20日（水）  
毎週水曜日 全10回  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 延べ62名



### ②手話奉仕員養成講座〔夜の部〕

期 日 平成28年6月1日（水）～10月19日（水）  
毎週水曜日 全21回  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 延べ382名



#### 4 高齢者福祉対策の推進

高齢者支援対策として、介護予防を推進するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため関係機関・団体等との連携を図り、高齢者福祉の増進に努めた。

##### (1) 給食サービス事業の運営

夕食を自宅まで届ける毎日型（年末年始を除く）の本サービスを、「配送 16:00～18:00」・「普通食@550」・「おかずのみ食@500」とし、調理及び配送の2つの業務を社会福祉法人 八甲田会 八甲荘に委託し実施した。

※給食の提供状況は、各種統計資料「給食サービス事業実施状況」のとおり。

##### (2) 日常生活用具貸出事業の運営

寝たきり高齢者や重度障がい者の日常生活の利便を図るため、特殊寝台、車イス等の貸出を行った。

〔日常生活用具の貸出状況〕

( ) 内の数字は、短期貸出者

年度	特殊寝台		車イス		シルバーカー	
	貸出数	返却数	貸出数	返却数	貸出数	返却数
平成28年度	32 (0)	18	11 (8)	12	5	0
累計	683 (35)	510	446 (136)	336	6	0

##### (3) お話しボランティア事業の推進

一人暮らし高齢者等で日中誰かと話しをしたい、悩み事を相談したい等を希望する利用登録者13名に対し、お話し相手となるボランティア（ボランティア登録者14名）を延べ143回派遣した。

##### (4) 高齢者健康体力維持支援事業

市老人クラブ連合会と連携し、高齢者の健康寿命を延ばすよう、心身の健康・体力維持及び増進を図る目的で、ふれあいのあるスポーツ交流会（軽スポーツ大会・グラウンドゴルフ大会等）を延べ3回開催し、延べ819名の参加となった。

##### (5) 市地域包括支援センター運営への協力

市地域包括支援センター運営の協力として、本会の提供する在宅福祉サービスや成年後見事業等の利用について対応協力した。なお、地域包括支援センターが窓口となる十和田市成年後見利用支援事業においては、市長申立て3件の後見人へ就任した。



### 第3 利用者の利益を守る事業の推進

#### 1 日常生活自立支援事業並びに成年後見事業の推進

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対する福祉サービスの利用援助と、それに関わる日常的金銭管理、書類の預かり等を行う基幹的社協として、管内市町村社協、民生委員・児童委員、関係機関・団体及び金融機関等と連携を図りながら、日常生活自立支援事業の推進に取り組んだ。

また、成年後見センターとして、成年後見制度の啓発活動を行い、同制度利用の必要がありながら、適当な受任者がいない方について、法人として後見人を受任し、財産管理、身上配慮の支援を行った。

##### (1) 「あっぷるハートとわだ」の運営

日常生活自立支援事業は、平成12年6月に施行された社会福祉法において、福祉サービス利用援助事業として位置づけられており、この事業は、管内とする野辺地町・七戸町・東北町を含める広域的な展開となるため「あっぷるハートとわだ」の愛称を用いている。事業の延べ利用者数は、管内で97名（解約者72名）、十和田市では255名（解約者176名）となった。

※活動状況は、各種統計資料「日常生活自立支援事業実施状況」のとおり。

##### (2) 各種研修事業の実施

直接サービス活動にあたる生活支援員13名を委嘱配置するとともに、資質向上を図るため、研修会へ派遣した。

期 日 平成28年6月3日（金）  
会 場 青森市 青森県総合社会教育センター  
参加者 5名

##### (3) 成年後見事業の実施

全社協からのモデル事業の指定を契機に、平成17年度に体制を整備した成年後見事業において、これまで受任した人数は、延べ14名（終結6名）となっている。この後見事務を行うとともに、事業の公正性・透明性を図るため、運営委員会を開催した。

##### ①第1回運営委員会

期 日 平成28年5月9日（月）  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室2  
出席者 11名  
協議事項 新規利用者受任

## ②第2回運営委員会

期 日 平成29年1月23日（月）  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室2  
出席者 12名  
協議事項 新規利用者受任並びに被後見人の状況報告

## ③第3回運営委員会

期 日 平成29年3月21日（火）  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室2  
出席者 11名  
協議事項 新規利用者受任

※活動状況は、各種統計資料「成年後見事業実施状況」のとおり。

## 2 苦情解決事業の推進

福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保し、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するため、苦情解決窓口を設置するとともに、第三者委員会の機能が十分発揮できるよう、第三者委員の資質向上とその周知に努めた。

### (1) 第三者委員の設置状況

- ①第三者委員の人数 5名
- ②第三者委員の構成 監事・評議員・地域代表者・学識経験者

## 3 福祉サービス利用者等の個人情報の保護

福祉サービス利用者等の個人の権利利益を保護するため、個人情報を保護するための管理体制を講じるとともに、個人情報保護に関する意識啓発に努めた。

## 第4 組織基盤の強化

### 1 事務執行における内部けん制体制

- (1) 各種事業ごとに現金取扱の内部けん制マニュアルを整備し、全職員が徹底厳守に努めた。
- (2) 経理規程を遵守し、現金の入出金体制の厳格化に努めた。
- (3) 内部監査を監事3名により年3回実施した。
- (4) 現金取扱い事務の厳正化、会計事務の省力化のため、各種利用料の口座振替と各種支払を電子送金処理した。

### 2 多様な参画による会員組織

可能な機会を通じて、地域福祉づくりの重要性を啓蒙し会員（住民）理解に努めた。また、活動財源である「会費」の増強を図るため、正会員及び特別会員の拡大に努めた。  
※会費状況は、各種統計資料「各種会費納入状況」のとおり。

### 3 役員体制の強化

理事・監事・評議員へ、会議や研修等への参加を呼びかけるとともに、広報紙社協だよりを送付し、社協事業の更なる理解を深めることにより、法人運営能力の強化に努めた。また、地域福祉活動計画策定のための委員会に役員の参画を得て、全4回の協議検討を行った。

### 4 機能的・効果的な事務局組織

全職員が人材育成基本方針に掲げる「目指すべき職員像」に努めた。また、事務局組織の向上を目的に、職員研修を体系的かつ計画的に実施した。  
※活動状況は、各種統計資料「各種会議開催及び参加状況」のとおり。

### 5 安定的・持続的な財源確保

法人運営における長期安定財源として、寄附金等の積立による「福祉基金」の造成を図った。また、認知症高齢者グループホーム外部評価訪問調査、実習生受入等の業務を積極的に実施し自主財源確保を図った。  
※「会費、寄附金、共同募金等の状況」は、各種統計資料のとおり。



## **6 経費の縮減と事務処理の効率化**

補助金や委託金の削減や廃止が続き、経費の縮減が求められる中、事務局内の省エネ・エコ対策推進委員会活動等をとおして、消耗品費等の可能な経費節減に努めた。

## **7 事業評価の実施**

全事業・業務について、担当者が自己評価を行い、次に係間において更なる問題点を話し合い、必要な見直し改善に努めた。